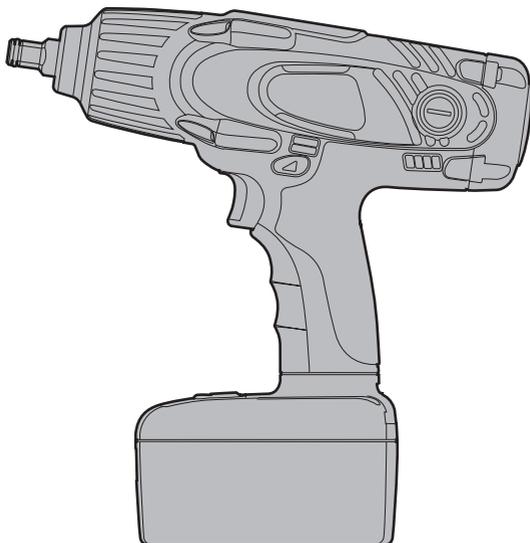


このたびは当社製品をお買い上げいただき、  
まことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全  
にご利用ください。

12.7sq. ホイールナット専用  
コードレス トルクリミット  
インパクトレンチセット

No.JTAE472

**取扱説明書**



梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店までお申し出ください。

- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ読めるように、大切に保管してください。

**発売元：京都機械工具株式会社**

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店、もしくは、お客様窓口にご連絡ください。

**お客様窓口**

☎ (0774)46-4159  
FAX (0774)46-4359

E-mail : support@kyototool.co.jp  
電話受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00  
(土・日・祝祭日及び当社休業日除く)

製品情報 <http://ktc.jp/>

製造国：台湾

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

T06614-0,16,03,KTC

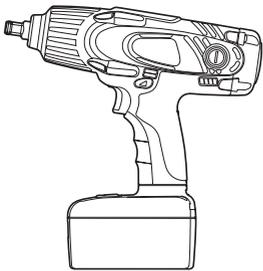
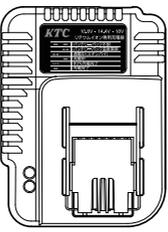
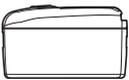
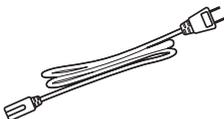
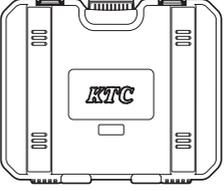
# もくじ

製品の機能	3
梱包内容	3
■開梱と再梱包	3
製品仕様	4
■インパクトレンチ本体 No.JTAE472	4
■充電器 No.JHE180H	4
■バッテリーパック No.JBE18030H	4
お使いになる前に	5
○バッテリーパックの充電	5
安全シグナルについて	5
安全上のご注意	5
本体の使用方法	7
■バッテリーパックの装着と充電方法	7
○バッテリーパックの取り外し	8
○バッテリーパックの装着	8
○充電する	9
■バッテリーパックの充電	9
○充電器ランプの見かた	9
○バッテリーインジケーターの見かた	9
■バッテリーパックについて	10
○長くお使いいただくために	10
○長時間ご使用にならないとき	10
○バッテリーパックの寿命	10
○バッテリーパックの廃棄	10
■インパクトレンチの使用方法	10
○インパクトレンチ用先端工具	11
○先端工具を取り付ける	11
○インパクトレンチを操作する	12
○仮締めモードの操作	13
■保管方法とメンテナンス	14
○作業が終わったら	14
○メンテナンス	14
■製品の廃棄について	14
故障かな?と思ったら	15
■カーボンブラシの交換	16

# 製品の機能

この製品は、自動車のホイールナットを緩めたり、仮締めしたりすることを目的とする、トルクリミット機能付きの電動コードレスインパクトレンチです。他の目的には、使用しないでください。

## 梱包内容

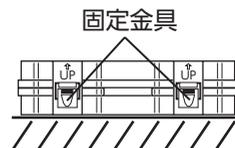
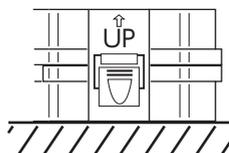
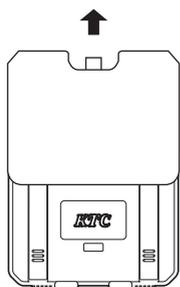
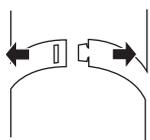
本体	充電器	バッテリーパック
		
電源コード	専用ケース	取扱説明書
		

1 個

## ■開梱と再梱包

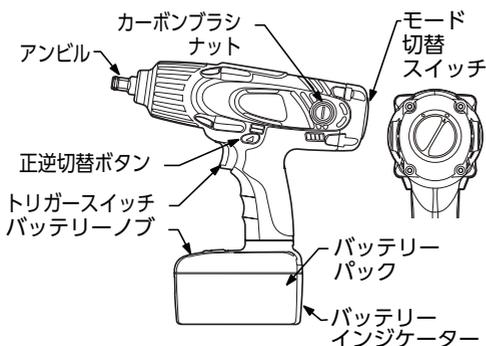
開梱手順は、以下のとおりです。再梱包は、開梱と逆の手順で実施します。

1. スリーブの固定用帯を外します。
2. スリーブを上側に引き抜きます。
3. 専用ケースの上面に記載されているUPが、上側に来るように、水平な場所に置きます。
4. 左右の固定金具を外し、専用ケースを開きます。



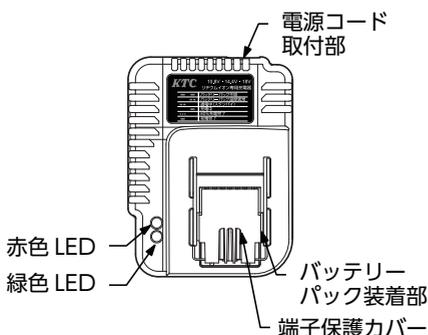
# 製品仕様

## ■インパクトレンチ本体 No.JTAE472



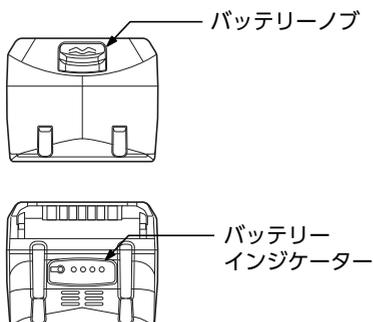
方 式	コードレス充電式電動インパクトレンチ
入 力 電 圧	18V DC
能力ボルト	自動車用ホイールナット M10～M14 (六角ボルト M6～M16=10mm～24mm)
締付トルク	フルパワーモード時 500N・m (気温 20℃満充電時) 仮締めモード時 フルパワーモードの約 15% (締付方向のみ)
無負荷回転数	0～1800rpm
四角ドライブ(アンビル)	12.7sq.
寸 法	W259×D80×H266
重 量	2.2kg

## ■充電器 No.JHE180H



入 力 電 圧	100V
入力周波数	単相交流 50/60Hz 共用
電力 (最大)	90W
出力電圧	10.8・14.4・18V DC
出力電流	3.4A
操作温度	0～50℃
保管温度	-20～70℃
寸 法	W145×D109×H78

## ■バッテリーパック No.JBE18030H



充 電 池	リチウムイオン電池
公称電圧・容量	18V DC・3000mAh
充 電 時 間	約 80 分*
寸 法	W117×D80×H65
重 量	700g
充 電 器	JHE180H 専用充電器にて充電

\*バッテリーパックの状態や充電されている環境により変化します。

# お使いになる前に

## ○バッテリーパックの充電

ご購入時にバッテリーパックは満充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。



- 充電は 0 ~ 50°C の場所で行う。
- バッテリーパックの温度が 0°C 以下、または充電器が置かれている環境と大きく温度差がある場合は、バッテリーパックを充電器が置かれている環境で放置（1 時間以上）してから充電を行う。
- バッテリーパックを 2 個以上連続で充電する場合は、充電器が冷えるまで 30 分以上休止させる。

## 安全シグナルについて

この取扱説明書では、誤った使い方をした時に発生する危害や損害の程度を、以下のように区分しています。

 **警告** けいこく 誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う可能性があります。

 **注意** ちゅうい 誤った使い方をすると、負傷または器物損傷の原因となる可能性があります。

## 安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークを付けています。

 拡大損害が予想される事柄	 禁止行為
 必ず行う	 分解禁止

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

 <b>警告</b> <small>けいこく</small> 死亡や重傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●専用バッテリーパック、充電器以外は使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●雨中や湿気の多い場所で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●ぬれた手で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●可燃性ガスや液体のある場所で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●点検及び保管時は、バッテリーパックを本体から取り外す。	ケガや器物破損の原因になる。
	●本体を持って移動する時は、トリガーに指をかけない。	ケガや器物破損の原因になる。



警告

死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●暗い場所で作業を行わない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●保護めがねや保護マスク、耳栓などの保護具を使用する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●作業対象物を必ず固定する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●バッテリーパックの装着は、トリガースイッチを切った状態で行う。	ケガや器物破損の原因になる。
	●バッテリーパックを火中に投入しない。	破裂や有害物質発生の原因になる。



注意

ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●分解及び改造をしない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●保守点検を必ず行う。	ケガや破損の原因になる。
	●本体に亀裂や破損が無いか確認する。	ケガや破損の原因になる。
	●小さい子供がふれない所に保管する。	ケガや破損の原因になる。
	●トリガースイッチで始動、停止のできない製品は、使用を中止する。	ケガや破損の原因になる。
	●本体が熱くなったり、異常を感じたら使用を中止する。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●本体に落下などの強い衝撃を与えない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	●本体を投げない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	●直射日光の当たる場所や熱機器の近くなど、高温の場所には放置しない。	破損の原因になる。
	●水の中に落としたり、水の中に放置したりしない。	破損の原因になる。
	●取扱説明書に記載している以外の用途には、使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●化学薬品、海水、水分などを付着させたまま放置しない。	破損の原因になる。
	●本体に油やグリースが付いた状態で使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●本体、バッテリーパック、充電器に異物が混入しないようにする。	ケガや本体の破損、器物損傷のおそれがある。
	●修理は、必ず購入した販売店に依頼する。	ケガや器物損傷の原因になる。

# 本体の使用方法

## ■バッテリーパックの装着と充電方法

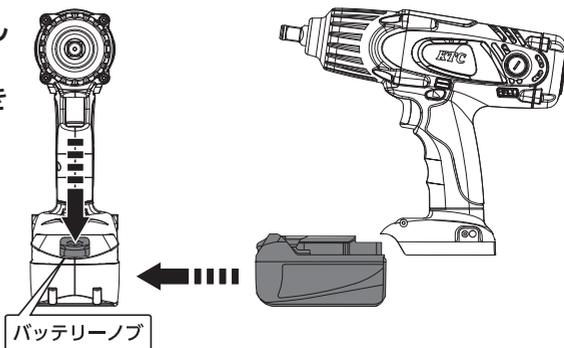
警告 <small>けい こく</small> 死亡や重傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●電池が液漏れしたり、異臭がしたりするときは、使用を中止する。	発熱、破裂などのおそれがある。万が一、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
	●分解及び改造をしない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●バッテリーパックに衝撃を加えない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●専用の充電器以外は、使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●換気の良い場所で充電する。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●充電時間が極端に短くなったバッテリーパックは、使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●ぬれた手で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●充電中に布や可燃物で覆わない。	火災や器物損傷の原因になる。
	●バッテリーパックを他の工具類と一緒に保管しない。	火災や器物損傷の原因になる。
	●バッテリーパックの端子間を短絡させない。	火災や器物損傷の原因になる。
	●電源コードに異常が見られる場合は、使用を中止する。	ケガや器物損傷の原因になる。

# 本体の使用方法

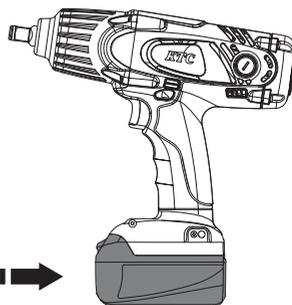
## ■バッテリーパックの装着と充電方法

⚠️ 注意 <small>ちゅうい</small> ケガや器物損傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
❗	●充電器を使用しないときは、電源プラグを抜く。	ケガや破損の原因になる。
❗	●充電器は、必ず100Vの電源を使用する。	ケガや破損の原因になる。
❗	●電源コードは、定期的に点検する。	ケガや破損の原因になる。
⊘	●直流電源やエンジン発電機に充電器を接続しない。	ケガや破損の原因になる。
⊘	●温度が0℃未満、あるいは50℃以上の環境で充電を行わない。	ケガや破損の原因になる。
⊘	●充電器の電源コードを持って運ばない。プラグを持ってコンセントから抜く。	破損の原因になる。
⊘	●電源コードを熱源に近づけない。	破損の原因になる。
❗	●バッテリー及び本体の端子部にキズやホコリが付かないようにする。	破損の原因になる。

- バッテリーパックの取り外し  
バッテリーノブを押しながら、  
バッテリーパックを前方に引き出す。



- バッテリーパックの装着
- ①バッテリーパックを本体に装着する。
  - ②バッテリーノブのロックがかかったことを確認する。

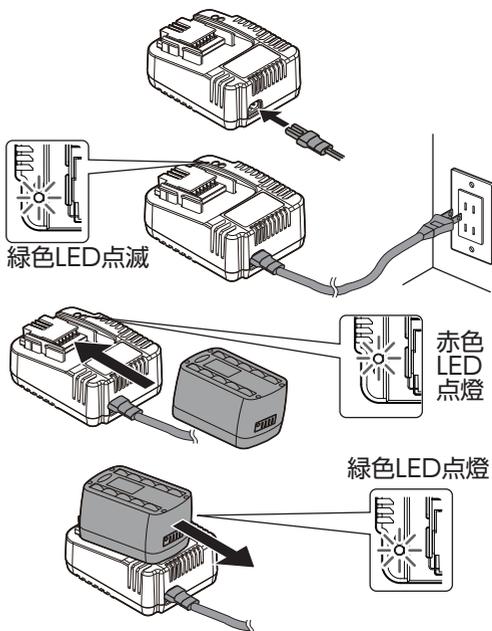




- ・本体の端子部に異物が無い事を確認する。
- ・バッテリーパックがスムーズに装着できない場合は、無理に装着せず、購入した販売店に修理を依頼する。

## ○充電する

1. 充電器に電源コードを取り付ける。
2. コンセントに電源コードを差し込む。  
緑色LEDが点滅（遅い）する。
3. バッテリーパック及び充電器の端子部に異物が無い事を確認し、充電器にバッテリーパックを装着する。  
赤色LEDが点灯する。
4. 充電が完了したら、バッテリーパックを取り外す。  
緑色LEDが点灯する。



## ■バッテリーパックの充電

### ○充電器ランプの見かた

充電時は、以下の方法で充電状態を表わします。

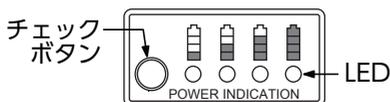
ランプの見かた

●●	遅い点滅
●●●	速い点滅
—	点灯

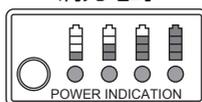
LED		内 容	充電器及びバッテリーパックの状態
緑	赤		
●●		通電中	充電器の電源が入っています。
	—	充電中	正常に充電しています。
●●●		80%充電完了	
—		充電完了	正常に充電が完了しました。
	●●	バッテリーパック温度異常	バッテリーパックの温度が異常です。 適正な温度になってから充電してください。
—	—	バッテリーパック不明	バッテリーパックの故障か、正規のバッテリーではありません。

### ○バッテリーインジケータの見かた

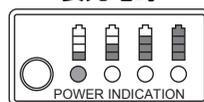
バッテリーパックにあるインジケータは、チェックボタンを押すことで、その時点のバッテリーの状態を表示します。



満充電時



要充電時



## ■バッテリーパックについて

### ○長くお使いいただくために

- ・本製品のバッテリーは、リチウムイオン電池です。バッテリーパックは、使用後、充電せずに保管してください。
- ・バッテリーパックを使用しないときは、ホコリが付かない場所で保管してください。
- ・短絡させないように保管してください。

### ○長時間ご使用にならないとき

- ・本製品のバッテリーは、リチウムイオン電池です。長時間保管する場合には、充電せずに保管してください。

### ○バッテリーパックの寿命

- ・満充電しても、ご購入後と比較して半分程度の作業しかできなくなったときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。バッテリーパックは、消耗品扱いとなります。

### ○バッテリーパックの廃棄

- ・本製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みのバッテリーパックは廃棄せず、リサイクル協力店までお持ちください。



・バッテリーパックを火中に投入しない。



・バッテリーパックを廃棄するときは、テープなどを使用し、短絡防止の措置をとる。

## ■インパクトレンチの使用方法



**警告**

死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●本体を確実に保持する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●回転する先端に顔や手を近づけない。	ケガの原因になる。
	●長時間の連続作業はしない。	本体の温度上昇で、ケガや器物破損の原因になる。
	●密閉された空間で使用しない。	発煙、発火、破裂のおそれがある。



**注意**

ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●先端工具は、取扱説明書に従い、確実に取り付ける。	ケガや器物破損の原因になる。
	●軍手などの巻き込みのおそれがあるものは使用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●スカーフやネクタイなどの巻き込みのおそれがあるものは着用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●インパクトレンチ用ソケットを使用する。	ケガや器物破損の原因になる。



ちゅうい  
**注意**

ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●空回転させない。	先端工具が飛び、ケガや器物破損の原因になる。
	●本体から出る空気に触れない。	火傷やケガの原因になる。
	●締め付け後は、トルクレンチで確認する。	規定トルクが指定されているものは、トルクレンチを使用する。

## ○インパクトレンチ用先端工具

ホイールナットのサイズにあった、インパクトレンチ用ソケット及びインパクトレンチ用ホイールナットソケットをご利用ください。

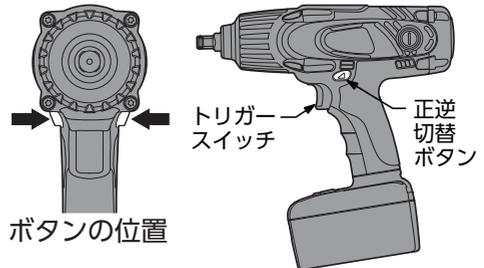
普通乗用車のホイールナット着脱推奨先端工具

KTC 品名	KTC 品番
12.7sq. インパクトレンチ用ソケット	BP4M-17TP・19TP・21TP・22TP
12.7sq. インパクトレンチ用 ホイールナットソケット	BP49-17・19・21・22
12.7sq. インパクトレンチ用アルミホイール 化粧ナットソケット	ABP4-17ALP・19ALP・21ALP

## ○先端工具を取り付ける

1. トリガースイッチをロックする。  
正逆切替ボタンを中央で止め、トリガースイッチをロックする。

先端工具を取り付ける前に、トリガースイッチがロックされていることを確認する。

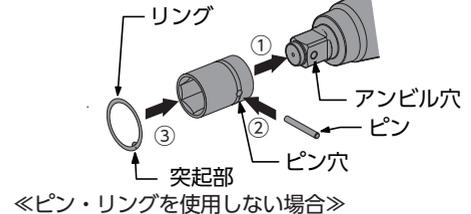


2. 先端工具を取り付ける。

《ピン・リングを使用する場合》

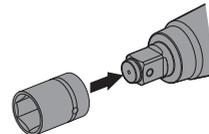
- ①ソケットのピン穴とアンビル穴の位置を合わせて取り付ける。
- ②ピンを入れる。
- ③リング内側の突起をピン穴に入れるようにを取り付け、ピン抜けを防止する。

《ピン・リングを使用する場合》



《ピン・リングを使用しない場合》

《ピン・リングを使用しない場合》  
アンビルにソケットを取り付ける。



先端工具の取り付け後、作業前にソケットの装着状態を確認する。

- ピン・リング使用時：ピンが飛び出さないようにリングが装着されているか。
- ピン・リング未使用時：ソケットが容易に外れないか。

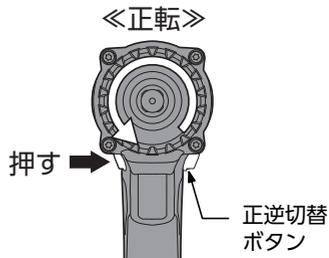
**KTC**製品以外のインパクトレンチ用ソケットの場合は、使用するメーカーの取扱説明書に従って装着する。

## ■インパクトレンチの使用法

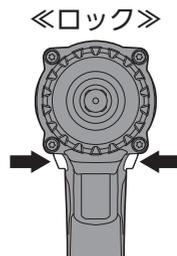
### ○インパクトレンチを操作する

正逆切替ボタンの操作で回転方向が切り替えられます。ボタンを中立位置にすると、トリガースイッチをロックできます。

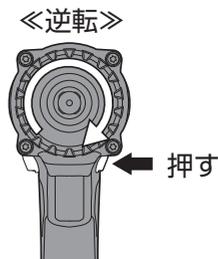
- ・回転方向の切替<正転>  
インパクトレンチを正転方向に切り替える。



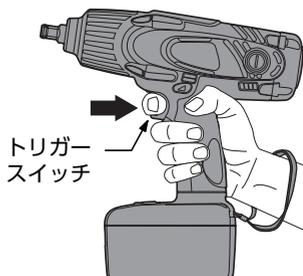
- ・回転方向の切替<ロック>  
インパクトレンチのトリガースイッチをロックする。



- ・回転方向の切替<逆転>  
インパクトレンチを逆転方向に切り替える。



- ・トリガースイッチの操作  
トリガースイッチを引くことでアンビルが回転。



- 作業時は、右図のようにストラップに手を通して使用すること。
- 正逆切替ボタンはモーターが完全に停止してから操作すること。

## ○仮締めモードの操作

モード切替スイッチを操作することで、インパクトレンチを「仮締めモード」に切り替えることができます。

**「仮締めモード」は「フルパワーモード」時の約15%の締め付け力になります。**

1. 正逆切替ボタンを正転方向に切り替える。
2. モード切替スイッチを○方向に切り替える。
3. トリガースイッチを操作する。  
トリガースイッチを引くことでアンビルが回転。

「フルパワーモード」にする時は「モード切替スイッチ」を○にする。

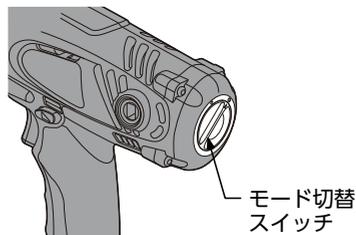
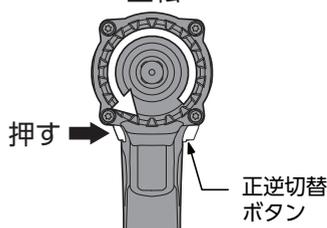
		設定モード	
		仮締めモード	フルパワーモード
回転方向	正転	仮締め	フル
	逆転	フル	フル

確認

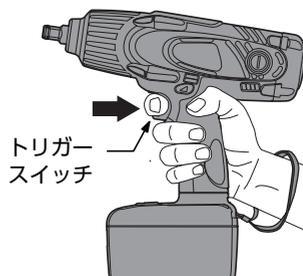
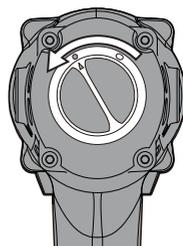
- 「仮締めモード」は、「正逆切替ボタン」が正転方向に切り替えられているときに作動します。
- 「仮締めモード」に切り換えても、逆転方向ではフルパワーモードで作動します。
- 「仮締めモード」時の締め付け力は、電池の状態やホイールナット及びハブボルトの状態により、異なる場合があります。

- 「仮締めモード」を使用して締め付けたホイールナットは、必ずトルクレンチを使用して規定のトルク値まで締め付ける。

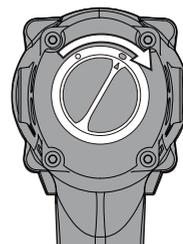
《正転》



《仮締めモード時》



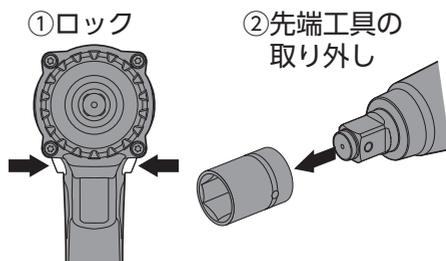
《フルパワーモード時》



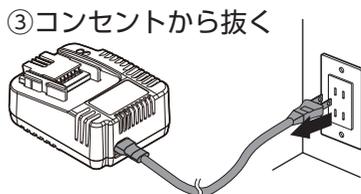
## ■保管方法とメンテナンス

### ○作業が終わったら

- ①正逆切替ボタンをロック位置にする。
- ②先端工具を取り外す。



- ③充電器の電源コードをコンセントから抜く。
- ④専用ケースに入れ保管する。



#### ●本体及び充電器

次のような場所で保管しない。

- ・子供の手が届く場所・自動車の車内・直射日光が当たる場所・多湿な場所
- ・ゴミ、ホコリの多い場所・溶剤などの引火物のある場所

#### ●バッテリーパック

- ・リチウムイオンバッテリーは、使用后充電せずに保管する。
- ・ホコリの付かない場所で保管する。
- ・短絡させないようにする。

### ○メンテナンス

#### ≪本体の汚れ≫

バッテリーを外した状態で実施すること。本体及びバッテリー、充電器が汚れた場合は、柔らかい布などを使用し、拭き取る。

#### ≪各部の点検≫

バッテリーを外した状態で実施すること。各部ねじの緩み、充電器の電源コードなどの亀裂、破損などの異常がないか、定期的に点検する。

#### ●本体及びバッテリー、充電器のふき取り

- ・ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のもので本体を拭かない。

#### ●充電器、バッテリーパック

- ・充電器は、必ずコンセントから電源コードを抜いてメンテナンスを行う。
- ・端子部にゴミやホコリが付着している場合は、非金属製ブラシなどを使用して、端子部に無理な力がかからないように気を付けて取り除く。

## ■製品の廃棄について

本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の条例に従い、適切に処理してください。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。

症状	考えられる原因	対処の方法
動作が途中で停止する。		作業を中断し、本体の温度が下がってから使用する。
動作が途中で停止する。 バッテリーパックが温度異常 (パワーインジケーターが全 て点滅する)。	本体が高温になり、保護機能 が働いている。	作業を中断し、バッテリー パックの温度が下がってから 使用する。
動かない。または動いてもす ぐ止まる (パワーインジケ ーターのLED1個が点滅する)。	バッテリーパックを充電して いない。	充電する。
動かない。トリガースイッチ を引いても操作できない。	バッテリーパックと本体の接 点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	カーボンブラシが摩耗してい る。	新しいカーボンブラシに交換 する。 <b>カーボンブラシ交換方法 16 ページ</b>
	バッテリーパックが故障して いる。	新しいバッテリーパックに交 換する。
満充電しているのに締付トル クが弱い。または回転が遅い。	バッテリーパックの寿命。	新しいバッテリーパックに交 換する。
	バッテリーパックの残量が少 なくなった。	充電する。
	バッテリーパックを長期間放 置していた。または購入した ばかりである。	
	温度が低い場所 (0℃以下) で保管したバッテリーパック を使用した。	バッテリーパックの温度が、 0～50℃になってから再度 充電する。
トリガースイッチを離すと、 異音が生じて停止する。	ブレーキの動作音。	故障ではない。
満充電しているのに締付トル クが弱い。または回転が遅い。	バッテリーパックの寿命。	新しいバッテリーパックに交 換する。
	温度が低い場所 (0℃以下) で保管したバッテリーパック を使用した。	バッテリーパックの温度が、 0～50℃になってから再度 充電する。



上記の対処方法を実施しても症状が改善されない場合は、直ちに使用を中止する。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

## 症 状

電源プラグを接続しても、通電中（スタンバイ）（緑色 LED が遅い点滅）にならない。

充電器にバッテリーパックを差し込んでも、通電中（スタンバイ）（緑色 LED が遅い点滅）のまま変化しない。

日常使用しているバッテリーパックが充電開始後 1.5 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED が点燈）にならない。

長期間使用していなかったバッテリーパックが充電開始後 4 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED が点燈）にならない。



上記の症状が見られる場合は、直ちに使用を中止する。

各部の点検で、症状の改善が見られない場合は、

**本体・バッテリーパック・充電器**

をセットで、ご購入の販売店もしくは KTC 取扱店に修理を依頼してください。

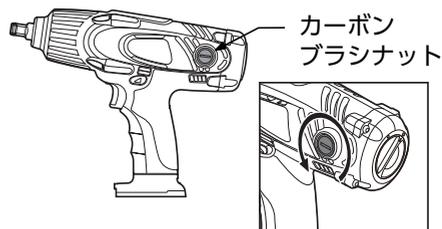
## ■カーボンブラシの交換

トリガースイッチを引いても動かない場合は、カーボンブラシが摩耗していることが考えられます。新しいカーボンブラシに交換します。



- ・カーボンブラシを交換するときは、必ずバッテリーパックを取り外してから行う。
- ・カーボンブラシを交換するときは、左右両方を一度に交換する。
- ・交換部品は、必ず指定の部品を使用する。

1. カーボンブラシナットを開ける。



2. カーボンブラシを取り外す。

3. 新しいカーボンブラシを入れる。

4. カーボンブラシナットを取り付ける。

